



## 【先週 11月3日～11月9日の外食の出来事】

### ■大戸屋が赤字に転落 メニュー改定不発、サンマ不漁で恒例の定食販売できず

大戸屋は、2019年4～9月期の業績を下方修正し、本業のもうけを示す営業損益が1億9000万円の赤字に転落する見通し。従来予想は4000万円の黒字でしたが、売り上げ計画が当初予定通りには進まなかったとしています。

### ■グローバルダイニング、第3四半期(2019年1月～9月)の連結業績 減収赤字

2019年12月期 第3四半期(2019年1月～9月)の連結業績を発表。売上高70億3600万円(対前年同期比4.4%減)、営業損失9200万円(-)、経常損失4800万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純損失6300万円(-)であった。

### ■松屋フーズ、上半期(2019年4月～9月)の連結業績

令和2年3月期 第2四半期の連結業績は売上高520億9000万円(対前年同期比9.4%増)、経常利益32億6900万円(同105.5%増)、四半期純利益18億9300万円(同93.2%増)と増収増益を確保した。

### ■ダイナックHD、第3四半期(2019年1月～9月)の連結業績 増収赤字

2019年12月期 第3四半期(2019年1月～9月)の連結業績を発表。売上高271億8000万円(前年同期比4.2%増)、営業損失2億5200万円(-)、経常損失1億4200万円(-)、四半期純損失3億3600万円(-)であった。

### ■アークランドサービス、第3四半期(2019年1月～9月)の連結業績 増収増益

2019年12月期 第3四半期の連結業績は売上高243億6900万円(対前年同期比9.7%増)、営業利益33億300万円(同10.1%増)、経常利益33億2200万円(同10.5%増)、四半期純利益18億4400万円(同1.5%減)。

### ■幸楽苑、台風19号被災で10月売上3割減 上期好調の蓄えで耐える

10月は売上高が30.1%減と台風19号の影響により大幅に減少。客数28.9%減、客単価2.4%減。水害により郡山工場は操業停止し、約240店舗が臨時休業となったが、小田原工場の増産により、営業を順次再開した。

### ■ゼンショHD、4～9月営業最高益 8年ぶり

2019年4～9月期の連結営業利益は前年同期比3割増の130億円強になった。4～9月期としては8年ぶりの最高益になる。すき家などの既存店が好調で人件費の増加を吸収した。連結売上高は7%増の3200億円弱。

### ■王将フードサービス、上半期(2019年4月～9月)の連結業績 増収増益

2020年3月期 第2四半期の連結業績は売上高425億6800万円(対前年比4.2%増)、経常利益42億4700万円(同6.1%増)、四半期純利益27億8200万円(同6.1%増)と増収増益を確保した。

### ■串カツ田中、8ヶ月連続マイナス サラリーマン客が戻らない

株式会社串カツ田中ホールディングスが、2019年10月の月次実績を発表した。既存店では客数93.2%、客単価98.5%で、売上高91.8%。2019年3月から8ヶ月連続で前年マイナスが続いている。